

～埋立部:総施工量 約520万m<sup>3</sup>にも及ぶ規模の管中混合処理工法の完了～

～連絡誘導路部:北側場周道路開通によりD滑走路島へ資機材を陸上運搬～

- 平成21年10月28日に、沖側開口部護岸背後の管中混合処理工法(浚渫粘性土にセメントを混ぜ軽量化, 高度化)の打設を完了し, これをもって, 約1年間に渡って施工を続けてきた同処理工法が完了した.
- 平成21年11月16日に, 現空港とD滑走路島を繋ぐ連絡誘導路部の北側場周道路開通により, 今後は, 海上及び陸上から資機材等を運搬することが可能となった.
- 今後は, 238基のうち残り12基となったジャケット据付(最終ジャケットの据付はH22.1末の予定)及び埋立部全域での盛土工事を昼夜24時間の連続大量施工により, 平成22年10月の供用開始をめざし, 急ピッチで施工を進めていく.



埋立部 標準断面図

